

accha通信

2016年4月 第22号

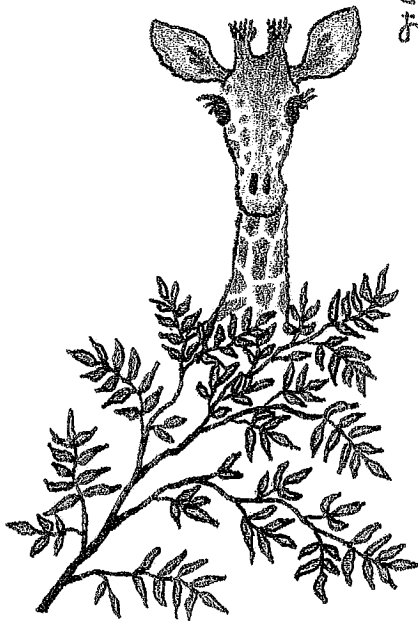
〈世界フェアトレード in accha〉

～日本で、世界で、わたしができることをしたい～

Music Activist "shiho"さんによる歌と語り

- 🌸 日時 5月14日(土) 13:30～16:00(開場12:00)
会場 天満教会 (10周年を開催した会場)
大阪市北区天神田町4-15 地下鉄南森町駅徒歩5分
- 🌸 参加費 500円

- 🌸 内容 Music Activist "shiho" (宗野志帆さん)の歌と語り
ニューヨークでR&B、JAZZを中心に様々なジャンルの音楽を
学んだ shihoさんは、音楽ボランティアをはじめ、発展途上国への
支援活動をされています。東日本大震災の被災地支援では
未来を生きる子供達のために合唱曲を作り、歌と訪問
で活躍。shihoさんの素晴らしい歌声をぜひ
お聴きください。



ケニア支援のかわいい動物グッズも当日販売致します。

🌸 ご参加された皆様と交流 🌸

当日は お野菜、クッキー、パン、コーヒーなど、10周年
イベントで販売した商品の展示販売も行いますので
お買物袋のご持参をお願い致します。

〈 フェアトレード & 野生ライボスティー コラボのランチ会 〉

これまで、アチャのイベントでもお世話になっている野生ライボスティーのセダベルグ・ロイボス代表者増井知穂多さんとの初コラボランチ会を開催します。フェアトレードの食材と野生ライボスティーコラボの健康で美味しい豪華なお料理をお楽しみください。

- 日時 4月17日(日) 12:00~
- ▲ 会場 ちえこの玉子ばこ(セダベルグ・ロイボス)
<http://cedarberg.co.jp/> 大阪市生野区新今里6-2-15
近鉄大阪線「今里」駅 徒歩2分
- 参加費 2000円(ランチ&ライボスティー飲み放題)
アルコールは実費(持ち込み可)
- ▶ 定員 20名(先着順で定員になり次第締め切らせていただきます)
- 申込み お電話又はメールで事前のお申込みをお願い致します。
当日、お料理・ロイボス社長のお手拭いをしていただける方は
10:00に現地Aをお願い致します。(お料理の勉強になります)

Noots bol Alt 羊毛は金(きん)なり 陳佳子

モンゴル人の夫が、ヤギのTシャツをネットショップで販売し始めたのは2014年。一方、モンゴルというキーワードの果てには、地下資源の恩恵を受けたい人との出会いしかないように思えた日々。私は少し疲れていました。大学の恩師を訪ねたヒツジパレット2015、『モンゴルのいのちの暮らしと羊展』会場にうず高く積み重ねた羊毛。それに触れた瞬間、「ああ、これがあんなにいいか」と感動と希望にふるえました。モンゴルでは、フェルトが生活のいたるところに根付いています。どうして気がつかないかならう...

その後、多くの方のご縁をいただいてフェルト雑貨の取り扱いは始まります。入荷の度に興奮するほどかわいい雑貨たち。多くの人への元へ立ちたい。でも始めると、雑貨の魅力とモンゴルの魅力を同時に伝えることのナント難しいことでしょう。そして、自分たちを直にモンゴルに絡ませるようになると、もっと難題が。もう少しモンゴル風デザインを抑えてほしいとお願いすると「あら、ゲル※が足りないのかしら」と1個だったゲルが3個4個にのびてしまう。この縫製をもう少し丁寧に、昔作ったものの上に新しいデザインのせごまがさなひるくださいよ、検品しましたか? 淡い恋はすぐ現実を見せてくれるものだなあと思いつ、気長に構えることにしています。理由は、モンゴルでは手仕事をやる人の分母が大きいこと。誇り高く理知的であること。修正は可能です。(やってくるかどうかは時間の問題ですが)

首都の近代化、地方との格差、日本と変わらず喘ぐような生活です。だからこそ、地下資源に依拠する率を少し減らして、持続可能な素材を伝統的に受け継がれた技で素晴らしい商品と一緒に作りたい。それを実現するには十分なほど、良質な羊たちがモンゴルにはいるのですから。羊毛に新たな光が当たれば、自然も守れる、手仕事も守れる、何より暮らしが守れる。その循環にこそ与りたい。モンゴル風味100%の民芸もの、一見モンゴル製とはわからないもの。どちらの商品にも良さがあります。私はどうやら上手く伝えられるのか、自分自身の生活も見直しながら今日もモンモンと考えています。ヤギの方は... もう夫に任せます。

ゲル※ モンゴルの牧民が生活する、伝統的なフェルトの住まい。

1月26日から2月3日の8日間、寒い日本をよばれ、「伊藤千尋さんと行くキューバ」というツアーに参加しました。昨年ヒースポットに乗船した時船内、元朝日新聞記者の特派員として中南米を長く取材し、たくさんの歴史の瞬間に立ち会ってこられた伊藤さんの臨場感あるれる、そして前向きな講演を聞き、とても元気な気持ちになったからです。

それまでのキューバのイメージは、アメリカと国交断絶をして意地悪をされている国、チェ・ゲバラの革命、カストロ首相のもと共産主義の国、外車がたくさん走っている国、程度でしたが、実際はどうなのか、興味深々でした。

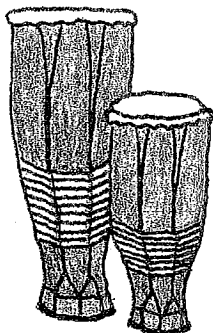
一番感心したのは、経済封鎖をされて貧しいにも関わらず、教育と医療が無料ということでした。女性が働けるような幼稚園もあり、女性の社会進出もすすんでいます。(一例: 党、議会の議員23%) また非識字率は1988年にすでに1.5% (10~49歳) だということでした。

医療も、医者養成のレベルが高く、ホームドクター制度もあって、小さい診療所を中心に地域での予防医学に力を入れていました。もちろん、すべての物が不足しているのも、医療機械や薬などは十分にはありません。でもチェルノブイリの被爆者を受け入れたり、外国に医者の派遣もしたりしています。去年訪ねたグアテマラやパナマに比べて、人々の表情が穏やかだなーと感じたのは、こういう安心感からきているのかな、と思いました。

その反面、物が絶対的に不足している、トイレ、水道、電気などインフラも遅れ、交通手段も不足、道の横をひんぱんに来ないバスを待ちながらヒッチハイクをしようという人がたくさん座り込んでいました。また、キューバは国民が使う人民ペソ、外国人が使う兌換ペソがあって、1ドル=1兌換ペソ=24人民ペソとなっているので、優秀な医者が人民ペソをもらう給料より兌換ペソやドルをもらうタクシーの運転手の方が収入が多いという現象が起こり、優秀な医者が海外へ流出しているようです。若者も多数夢を求めてアメリカに渡っているとか。

日本との関係では、キューバの特産物の伊勢海老を日本に輸出しています。自分たちが食べるより金持ちの日本に輸出して、そのお金を教育に回そう、ということです。また、日本がキューバ産のニッケルを輸入して製品にしても、アメリカはそれを買わないそうです。今後はアメリカの顔色もうかがわれないで、日本のいいものを、ハード、ソフト、合わせてどんどん輸出していけば日本にとってもいいのになーと思いました。

その他、有機農場を見学したり、ヘミングウェイの家や行きつけのカフェで「老人と海」の世界に浸ったり、革命の時チェ・ゲバラとずっと行動を共にしていた方のお話なども聞き、あらためて人間的な魅力に感服し、とても充実した旅でした。ご一緒した方々も「九条の会」など市民活動に熱心で、私もたじたじ... でしたが、とてもいい刺激になりました。スペースの関係で全て書ききれませんが、また今度お会いした時の楽しみに、もっとキューバについて知りたい! という方は伊藤さんの最近の著書「キューバ 超大国を屈服させたラテンの魂」(高文研) をオススメします。



<フェアトレード・レシピ>

～ プリンのみそ 紫いも添え ～

材料 (2人分)

鶏むき肉 100g
にんにく 1かけ
プリンペースト 大さじ½
みそ "
しょうゆ 小さじ½
水 50ml
かたくり粉 適量
水 "
油 大さじ1
紫いも 40g

プリンペーストの作り方

プリン100gにぬるま湯45ccを加えて
しばらく置き、やわらかくする。
フードプロセッサなどでペースト状にする。
※冷蔵庫に入れて1週間ほど保存可

作り方

- ① 紫いもを洗い皮をむかずに蒸す。
- ② にんにくをみじん切りにし、フライパンに油とにんにくを入れ香りがたつまで炒める。
- ③ むき肉を加え、火が通ったら水を加えて煮込ませる。
- ④ プリンペースト、みそ、しょうゆを合わせたものを加える。
- ⑤ みそが溶けたら、同量の水で溶いたかたくり粉を少しづつ加えてとろみをつける。
- ⑥ 蒸しあがった紫いもにみそを添える。

フェアトレードショップ **accha**

大阪市 北区 天神橋 3丁目 2-20

H.P. <http://www.accha.jp>

Mail. info@accha.jp

TEL & FAX 06-6357-7939

営業時間 10:00 ~ 19:00

定休日 日・月曜日

編集 Keiko